

これからの教師像 2017【第2講義】

「ことばへの気づき」から始まる アクティブ・ラーニング

県立広島大学
馬本 勉

umamoto@pu-hiroshima.ac.jp

1

Warm-up / Group work 1

- グループ内で、話す順を決めてください。
- 1番さん、私の質問に教えてください。
- その答に対し、他の方は「**根掘り葉掘り**」尋ねましょう。「どんなところ?」「どうして?」...
- 1番さんは、その都度、簡潔に答えます。
- 質問は、2番さん、3番さん...と、順々に行います。1番さんは、質問に次々と教えてください。
- 時間になるまで、それを続けます。

2

Warm-up / Group work 1

- では、1番さんに、質問します。
- **あなたの大好きな**
- **スポーツ選手は誰ですか。**
- 簡潔に、教えてください。
- 答を準備していただいている間に...

3

Warm-up / Group work 1

- 手順をおさらいします。1番さんの答に対し、
- 2番さん、**掘り下げる質問**をお願いします。
- 1番さんの答を聞いて、次は3番さんが質問します。
- 質問が続きます。1番さんは、しっかり教えてください。
- では始めます。制限時間は1分間です。
- では1番さんの回答から、どうぞ。

4

質問力／問う力

- 英語の疑問詞
- when, where, who, what, which, why, how
- よりよく知る
- さらに疑問がわく
- 問うことで, (双方の)知識が増える, 理解が深まる

5

第2講義の狙い

- これからの教師像／良い教師
- 良い学習者／学修者 とは？
- 良い「学び手」像を 体験, 共有
- **学びの専門家たれ**
cf. 面白がる能力

6

Group work 2-1

- クイズです。英語ですよ。
- Question:
- one-letter words in English...?
- Answers:
- では一斉に教えてください。どうぞ。
- a
- I

7

Group work 2-2

- 簡単すぎましたね。では,
- two-letter words in English?
- ひとり一つずつ, 20秒間でいくつ言えますか。
- am, an, as, at, be, by, do, go, he, if, in, is, it, me, my, no, of, on, or, ox, so, to, up, us, we
- ad, ah, da, eh, ex, ha, hi, ma, oh, OK, pa, uh

8

Group work 2-3

- もうひとひねり。
- one-letter words か two-letter words
- それだけを使って
- 英語の文を作ります。
- one sentence
- できるだけたくさんの語を使って英文を作しましょう。
- シートの①に

9

解答例いくつか

- I am up to it as he is my pa.
 (彼が私のお父さんだから, がんばる)
 ⇒ パパがパパで良かった, と人に伝える
- He is OK as I am an ox.
 (私が牛なもんで, 彼はOKだよ)
 ⇒ 私が牛の役(芝居の)を引き受けたから,
 彼の負担はないよ

10

考えてみよう

- ここまでの活動で,
 - あなたは学び手に対し,
 - どのような「気づき」を
 - 促すことができるでしょうか?
 - (⇒ あなた自身の「気づき」は?)
- シートの②に

11

ちょっと一息:「気づき」は広島弁?

- 上の段には主人公がしたことと, 話した言葉を, 下の段には気づきを書きなさい。
- ⇒ 次の文章を読んで, 気づいたことを書きなさい。
- 「大休憩」とは?
- 灰谷謙二(2016)『これが広島弁じゃ!』より

12

考えてみよう

- あなたが教える予定の教科・科目
- あるいは、一番好きな教科・科目

- その内容について、
- 短時間で答えられる「簡単な出題」をします。

- シート③に

13

例題

- 問題
- 私の携帯電話の番号は何でしょう？

- 少し変えてみます。
- 私の携帯電話の番号、数字が11個ありますが、そのすべてを掛けると答えはいくつ？

14

Group work 3

- グループで、最も「簡単な問題」を選びます。
- その問題から、**深い学び**を実現する工夫を考えてみましょう。

- シート④に

15

アクティブ・ラーニング

- 大学をはじめとする高等教育は、この用語を用いて**講義一辺倒の授業脱却**を目指し、資質・能力をはじめとする学生の学びと成長パラダイムへの転換を推進してきたのである。このようなactive learningは、日本の高等教育改革のなかで「アクティブラーニング」としてカタカナとして紹介され、後に『質的転換答申』（2012年）で「アクティブ・ラーニング」として国の施策用語となった。

溝上慎一のホームページより

16

アクティブ・ラーニング(AL)とは

- 教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、**学修者の能動的な学修への参加**を取り入れた教授・学習法の総称。

中央教育審議会(2012)「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて:生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ(答申)」

(以下、「質的転換答申」)

17

アクティブ・ラーニング(AL)とは

- 学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた**汎用的能力の育成**を図る。**発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習**等が含まれるが、**教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク**等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

「質的転換答申」

18

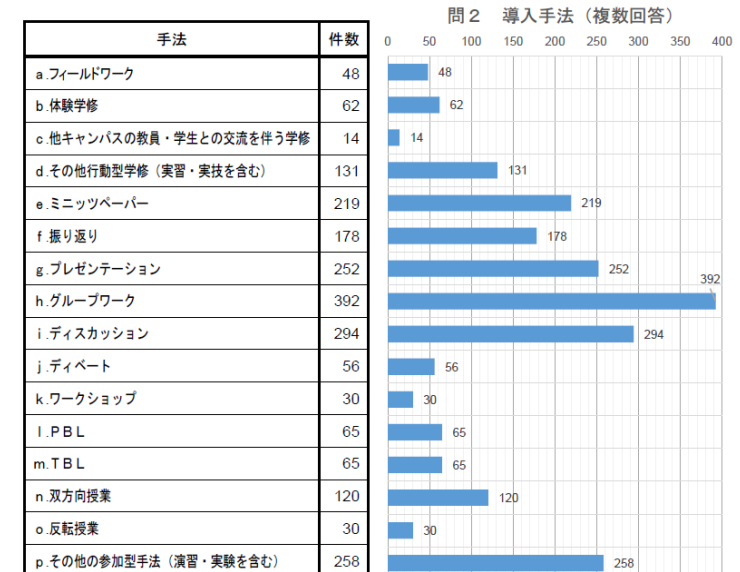
アクティブ・ラーニング

- 一方向的な知識伝達型講義を聴くという(受動的)学習を乗り越える意味での、**あらゆる能動的な学習**のこと。能動的な学習には、**書く・話す・発表**などの活動への関与と、**そこで生じる認知プロセス(*)の外化**を伴う。

*認知プロセスとは、知覚・記憶・言語・思考(論理的/批判的/創造的思考、推論、判断、意思決定、問題解決など)といった心的表象としての情報処理プロセスのことである。

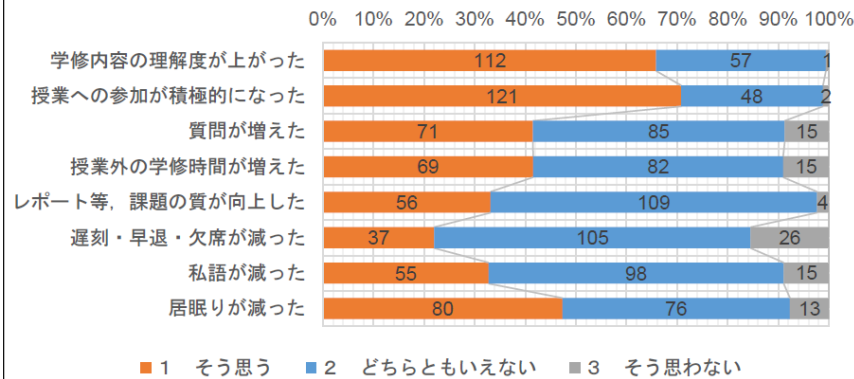
溝上慎一のホームページより

19



20

問2 [ア] アクティブ・ラーニングの効果



21

学修成果例

知識の統合, 自分なりの解法, 専門の異なる学生間のコミュニケーション, 新たな発見, 幅広い視野, 協働性の涵養, 自ら発見する喜び, 深い学び, 主体的な学修姿勢, 行動の省察, 他者への共感, 経験の共有による参加者間の関係深化, 多重課題に対応する考え方, 臨床をイメージ, 自尊感情, 時間外の学修を促す効果, etc.

主体的・対話的で深い学び

- 主体的・対話的で深い学びの
- 実現に向けた授業改善

高等学校学習指導要領(案)より
(以下, 高校指導要領案)

23

主体的・対話的で深い学び

- 各教科・科目等において身に付けた知識及び技能を活用したり, 思考力, 判断力, 表現力等や学びに向かう力, 人間性等を發揮させたりして, 学習の対象となる物事を捉え思考することにより, 各教科・科目等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方(以下「見方・考え方」という。)が鍛えられていくことに留意し

(高校指導要領案)

24

主体的・対話的で深い学び

- 生徒が各教科・科目等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図る

（高校指導要領案）

振り返り

- 問う力／質問力
- 学びの専門家
- 気づき
- 始まる／始める
- グループ・ワーク
- アクティブ・ラーニング
- 主体的・対話的で深い学び

26

この時間の「気づき」

- シート⑤に
- 書き終わったら、「魔法のシート」を提出してください。
- 質問はご遠慮なく。 <http://eigaku.net>

27

ありがとうございました。

がんばってください。

28